

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
 URL <http://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

横浜市野島青少年研修センター

この冬、野島青少年研修センターでは多くの青少年たちが体験活動を通じ、たくさんの思い出を作りました。今号では、様々な事情により宿泊体験機会が限られがちな青少年が、仲間とともに楽しみながらチャレンジした2つのキャンプを紹介します。



野島クリスマスキャンプ2017

(12月9日～10日)

横浜市内の個別支援学級に通う児童生徒を対象に実施している「野島クリスマスキャンプ」。

22回目を迎える今年も、研修センターに子どもたちの楽しそうな声がこだましました。クリスマスキャンドルでは、全員が主役になることができる「#0(シャープゼロ)」によるコンサートが行われました。「一緒に歌おう!踊ろう!」との呼びかけに、子どもも保護者も楽しそうに踊っていました。また、輪投げや的当てなどのミニゲームをしながら館内を回る「わくわくサンタ島ゲーム」は、子どもたちとボランティアがペアになったため、グッと仲が深まったようで「ボランティアさんにたくさん話を聞いてもらえたよ!」と嬉しさいっぱいの声が子どもたちから届きました。

保護者からは「優しさ子どもたちの笑顔が相まって、あっという間に時間が過ぎた2日間でした」と感想が寄せられました。最後に撮った集合写真は、みんなの笑顔があふれていました。



青少年たちの チャレンジと体験



わくわく生活体験キャンプ

～星を観る会～

(12月27日～28日)

家庭の事情などにより、宿泊体験機会に恵まれない子どもたちを対象とした「わくわく生活体験キャンプ～星を観る会～」を実施しました。

当日は、大学生や高校で天文部だったボランティアたちの協力を得て、星空観察や食事作り、キャンドルファイヤー、野島公園散策を楽しみ、初めて会った子ども同士が活動を通じて交流を深めていく様子が見られました。終了後、引率者からは、「普段は見られない子どもたちの頼もしい一面を見ることができた」との話しを伺うことができました。また、帰宅後に星座に興味を持ち、参加出来なかった友だちに星について説明をしている子がいたなど、「キャンプ後の活動にも変化が見られた」という嬉しい報告もありました。キャンプを通して出会った仲間と一緒に過ごした時間や経験をもとに、子どもたちが自信をつけ自分の可能性を伸ばしていくくれたらと願っています。



横浜市青少年育成センター

代替施設のお知らせ

青少年育成センターは、関内ホールの長寿命化工事にともない、平成30年9月30日(日)まで松栄関内ビルで運営しています。オフィスビルのワンフロアのため、利用条件等でご不便をおかけする部分もありますが「明るい」「キレイ」とご好評をいただいています。皆様のご利用お待ちしております。



■松栄関内ビル：横浜市中区住吉町2-22 tel.045-664-6251

■部屋：第1研修室(72人定員)、第2研修室(27人定員)、ミーティングルーム(12人定員)

10月1日(月)からは従来の設置場所である関内ホールに戻ります。

◀ 第1研修室



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング



青少年チャレンジ事業
「大学生に習う、書初め1day！」

(1月6日)

1年の事始め「書初め」に青少年たちがチャレンジしました。夢中になって書き続け、気が付けば1時間経過…驚きの集中力です！

『生きる力』『新たな決意』『懸頭刺股』など思いを込めた書に、初めて「講師」を務めた大学生たちも大変感激していました。この強い気持ちで、みんなの抱負や目標が叶いますように…。書初めの後にいただいた甘いお汁粉は、満足感で一杯の疲れたからだに染み入るおいしさでした。



事業課（寄り添い型生活支援事業）

「食の体験交流事業」を実施しています！

(10月～毎月1回)

放課後の居場所が必要な子ども達を対象としたこの事業は、小学1年生から中学3年生までの利用者が、ボランティアに勉強を教してもらったり調理やゲームをして放課後を楽しく過ごします。ライオンズクラブ国際協会330-B地区のご厚意により始まった「食の体験交流事業」は、提供いただいた食材を、ライオンズクラブ会員の皆さんと子どもたちが一緒に調理・会食をする事業です。採れたての珍しい野菜に驚いたり、季節の食材を知ったり、出来立てのご飯のおいしさに感激したり…



…先日は、初めての“ほうとう”に皆、おかわりが止まらなくなりました。食を通して、子どもたちに豊かな体験と交流の機会が広がっていきます。

放課後キッズクラブ

キッズ合同「海苔づくり体験学習」@日本丸メモリアルパーク (2月24日)



特定非営利活動法人とともに浜をつくる会のご協力で、港南台第三小、秋葉小、本町小、上矢部小放課後キッズクラブの児童・保護者約100人が参加。包丁で細かくたたいた海苔をすいて乾かします。先生の漁師さんの手元を真剣に見ているうちに「ここ、薄くなっているね」と出来具合の違いに気づく子もいました。ご指導いただいたお返しに子どもたちから寄せ書きをプレゼントしました。カラッと乾燥した板海苔のお土産にみんな大満足!!



報告 「新春のつどい」を開催しました！

(1月24日@ホテル横浜ガーデン)

賛助会員や事業にご協力いただいた皆様に、日頃の感謝とともに新年のご挨拶を伝える場として毎年実施しています。雪が降った翌々日の寒い日でしたが、約80人の方にお集まりいただき、法人の事業報告や感謝状の贈呈式を行いました。普段は関係部署の職員以外、直接お会いする機会がほとんどない皆様方と直接お話しすることができ、職員一同「今年も頑張るぞ！」と決意を新たにしました。



Thank you for your support.

ありがとうございました！

平成29年11月1日から平成30年1月31日までの寄附金

◆ ユース賛助会費	77件	254,000円
◆ 一般寄附金	108件	108,082円

寄附金協力者（日付順、敬称略）

【団体名】 ブックオフオンライン/馬車道商店街協同組合/扶桑電機(株)/ (株)横浜アーティスト/ (株)杉浦商事/横浜市立井土ヶ谷小学校PTA/稲垣薬品興業(株)/横浜野球連盟/横浜木曜会

【個人名】 芦立 正子/荒井 総平/新井 春海/飯島 幹夫/飯塚 道子/市原 政喜/井上 孝夫/岩崎 淳/岩澤 利雄/櫻本 文夫/大久保 皓司/大久保 則子/大澤 正之/恩田 幸一/片岡 喜久江/片岡 祥/川本 正秀/雲井 雅一/倉澤 達雄/斉藤 林福/佐藤 克徳/椎野 雅子/篠崎 浩子/嶋田 美保/下澤 明久/鈴木 千代江/清田 邦男/田島 一郎/田野井 伸泰/出口 晴基/中島 尚樹/中村 輝次/橋本 康正/濱倉 公子/原 一義/古澤 竜夫/益子 絹子/三井 巧/安田 修二/安田 由美子/山本 亜紀子



●編集後記● 「現代語 古事記」(竹田恒泰 著)を読む機会があった。そこには、楽しんで読むための最大の骨は、神様と人の名が出てきたら直ぐに「忘れること」だという。それは、重要な神様は何度も登場するため、自然と覚えらるからであると書かれていた。(詳)